

2019(令和元)年度 第3回「Salon De 大学コンソーシアム大阪」開催報告

「【勉強会】若者の SNS 事情について知る」

日 時 : 2019(令和元)年 12 月 13 日(金) 18:00~20:00(情報交換会 20:00~21:00)
会 場 : キャンパスポート大阪 ルーム A(大阪市北区梅田 1-2-2-400 大阪駅前第2ビル 4 階)
講 師 : 中西 唯 氏(大学コンソーシアム大阪 研修部会推進委員/大阪薬科大学 総務課)
岡本 千代恵 氏(同上/関西福祉科学大学 運営企画室)
申込者数: 20 大学 35 名(うち会員外 4 大学 4 名)
参加者数: 16 大学 30 名(うち会員外 1 大学 1 名)
企画・運営: 大学コンソーシアム大阪研修部会推進委員会

2019 年度 3 回目の Salon De 大学コンソーシアム大阪(愛称: サロン・ド・コンソ)が、中西氏と岡本氏を講師に迎え開催された。以下、その概要を紹介する。

司会進行の小林 諒太郎氏(大学コンソーシアム大阪 研修部会推進委員/大阪経済大学 総務部 人事課)より、本日のサロンの趣旨説明があった。続いて、開会挨拶として、浅田 晋太郎氏(大学コンソーシアム大阪 研修部会推進委員長/学校法人 大阪女学院 理事)から、今回の講演テーマと講師の紹介があった。



今回は趣向を変え、学生の世代に近い大学の若手職員が講師となり、「若者の SNS 事情」についてワークショップを交えた勉強会形式で行われた。

はじめに、岡本氏によるアイスブレイクが行われた。今の若者がどのようなことに興味があるのか、若者言葉等について、クイズ形式で楽しく学んだ。続いて、今回の勉強会の趣旨説明や SNS の歴史について簡単な紹介があった。



中西氏からは、SNS の種類や特徴、その楽しみ方について紹介された。また、学生がこれらの SNS を使ってどのようにコミュニケーションをしているかの具体事例の紹介があった。その例として、ツイッターでは利用者のほとんどが暇つぶしとして使っているケースが多いものの、即時性があるため、特に災害時では不確かな情報とはいえ、最新かつ重要な情報を得ることができるといったような有益性についても触れられた。



続いて、大学における SNS に関するトラブルの事例紹介があり、トラブルが起こった時の対応について考えるワークと情報交換が行われた。

また、学生に身近なこのような SNS を使った広報戦略や LINE を利用した学生への連絡等の好事例についても紹介された。

最後に、大学にとって SNS が広報以外にどのような活用法があるのか、参加者で意見交換が行われた。

宮原 秀明氏(大学コンソーシアム大阪 研修部会推進副委員長/大阪学院大学 庶務課 兼 社会連携室 課長)から閉会の挨拶があり、プログラム終了後に参加者へ「参加証」が配付された。

その後、講師を囲んで情報交換会が開催された。終始、和やかに情報共有や意見交換を行う姿が見られ、参加者間のネットワーク構築の場としても活用された。

以上

